

平成30年度岡山県立岡山南校等学校入学式 校長式辞

今年の春は唐突に訪れた上に、桜の花はあっという間に散ってしまいました。そして今、「山笑う」という春の季語のとおり、春の色に山々が彩られてまいりました。

こうした春爛漫の佳き日に、ご来賓の皆様にご臨席いただき、岡山県立岡山南高等学校入学式を挙行できますことを、ここにお集まりの皆様とともに喜びたいと思います。

先程、入学を許可いたしました360名の新入生の皆さん、そして保護者の皆様、ご入学、誠におめでとうございます。

人生初の試練とも言える高校入試という難関を突破して今日の晴れやかな日を迎えられ、さぞかしお喜びのことでしょう。

今日は、希望に燃える新入生の皆さんが新たに高校生活を始めるに当たり、私の思うところをお伝えしたいと思います。

私は皆さんの丁度43年先を歩いているところです。こんなに頭が白くなっていますが、43年前には皆さんと同じように希望に満ちあふれて高校へ入学しました。

入学後、ある教科の最初の授業で恩師が言われたことが、今も忘れられません。その教えてくださったことが、今も私の教訓です。

それは、こんな問かけから始まりました。「君たちは、あと何日生きられるか知っているか?」というものでした。今の皆さんも同じでしょうが、高校1年生の私は、人生が限られたものであるなんて考えたこともなかったので、妙なことを聞く先生だなあと感じたに違いありません。しかし、その先生は、人生の先輩として、人にとって何ものにも代えられない大切なものは、「こうして生きている時間」であることを教えてくれたのです。

その先生は、人生を80年と仮定したら約3万日になると言われました。80年というのはなかなかイメージがわからないものですが、3万日と言われると、急に限りあるもののように感じられるものです。さらに追い討ちをかけるように言われたのが、「もうすでに15年分使っていて、その約5千日を差し引いて残っているのは2万5千日だ」と言われました。そしてさらに畳み掛けるように、食事は日に3回摂るから、あと7万5千回食事したら人生は終わりだとも言われたのです。ピンときていないクラスメイトが多かったでしょうが、私には人生の大きな指針になったことは間違いありません。

時間を大切にすることを教える諺に、「時は金なり」というものがありますが、それは英語の「Time is money」を日本語に訳したものだそうです。確かに時間を無駄にしないという意味は伝わるのですが、もっと「時間を大切にすること」を的確に表現するならば、「Life is short」だと私は思います。「人生は短い」ということですし、「人生には限りがある」ということです。今、私は60歳を目の前にして、まさに「Life is short」を実感しているところです。

皆さんにとっては、想像できないほど昔である43年も前の私の高校時代が、私にとってはついこの間のように感じられるのですから、高校での3年間は、皆さんが思うほど長くはありません。

中野孝次という作家が、「技芸、知力、体力、何でも人間の能力が最も急激に伸びるのは、16、17、18、19という10代の終わりの時期なのだ」と言っています。私自身、人にやられるのではなく、自分の意思で必死に努力した10代後半こそが、今の私を支えていると思っています。皆さんにとって、これから20歳までの5年間がその後の人生を大きく左右するのです。

限られた中で成し遂げるとい話をします。日本人は農耕民族でしたが、もともと広大な農地があったわけではありません。今では大観光地になっている千枚田と呼ばれる棚田や段々畑は、平地の少ない山の斜面で何とかして作物を作りたいという先人の苦勞と工夫の賜物です。条件が厳しい中でこそ、とんでもない力を発揮するのが日本人のDNAだと私は思っています。自動車産業界を見てみると、今、国内で爆発的に

売れているのは軽自動車です。660mlという排気量の制約や、車体の長さや幅に制限があるからこそ、工夫することができて、アイデア溢れる素晴らしい軽自動車を生み出してきたのです。

人生には限りがあるから面白いのです。皆さんが限られた3年間で、自分を劇的に伸ばしてくれることを期待しております。

ただし、ここまで時間を大切にほしいという話をしましたが、時間を大切にするあまり頑張り過ぎて、毎日を全く余裕なしの生活を送ることは実に危険です。余裕とすることを表した日本語の表現に「遊び」というものがあります。わかりやすいのは、自転車のチェーンやブレーキの「遊び」でしょう。自動車のアクセルやブレーキにも「遊び」はありますし、その他の工業製品のほとんどに「遊び」という余裕が意図的に取り入れられています。チェーンに「遊び」が無くて、ギチギチだと、スムーズには力がタイヤに伝わりませんし切れることもあります。そしてブレーキに「遊び」がなければ、ほんの少しブレーキレバーに触っただけで急にブレーキが効いて、もんどりうってこけてしまうのです。逆にチェーンが緩みすぎるとたるんでしまって外れてしまいます。

そのことは、人間の心とそっくりです。日々の生活の中には必ず「遊び」と言えるような丁度良い余裕が必要なのです。ボーとする時間や、大好きな趣味に耽る時間も人生にはとても大切であることを強調しておきたいと思います。人生は、時間を惜しんで本気で取り組むべきことと、「遊び」と言えるような余裕とで成り立っています。それをちょうど良いさじ加減で日々の生活の中に上手に調合していくことがより良く人生を生きていくには大切です。是非ともバランスの良い人生を歩んでください。

最後に、ここにいる360人全員が、3年後、もっと具体的に言うと、35ヶ月後、1057日後の2021年3月1日に、誰ひとり欠けることなく、卒業の日を迎えられることを切に願い、式辞といたします。

平成30年4月10日

岡山県立岡山南高等学校長 延原良明